

福島漢字探検隊 - 漢字あそび大会2012

漢字カルタや漢字カードなどを使って楽しく漢字を学ぼう!

漢字グッズ満載のクイズ大会・ビンゴ大会もあるよ!

日時 10月7日(日)12:00~17:00
10月8日(月・祝)10:00~16:00

(この間のお好きな時間にお越しください)

会場 福島テルサ 3階・大会議室「あぶくま」

昨年度と場所がことなりますのでご注意ください

内容 漢字あそびコーナー
漢字カルタ・ビンゴ・トランプ
古代文字で名前を書こう
漢字クイズ大会・画数ビンゴ大会
白川静展示コーナー

対象 どなたでもご参加いただけます

参加料 無料・事前申込不要 当日会場に直接お越しください

主催 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所

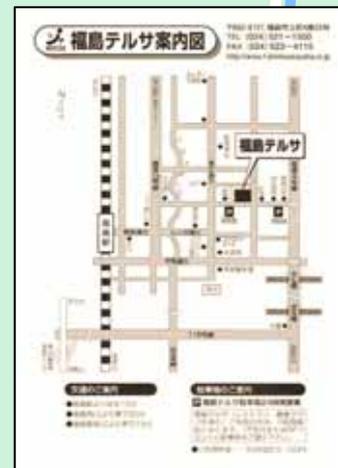
協力 国立大学法人福島大学

後援 福島市教育委員会

協賛 平凡社、太郎次郎社印行、リ-エ-ネットワーク、フォーラム・A

お問い合わせ 立命館大学 社会連携部社会連携課

:075-813-8110 / e-mail:toyomoji@st.ritsumei.ac.jp



おもなイベント

漢字クイズ大会

小学生以下の部 7日 13:00～13:30・8日 15:00～15:30

中学生以上の部 7日 15:00～15:30・8日 13:00～13:30

漢字についてのクイズに挑戦(ちょうせん)しよう。当日エントリー受付。(各回20人)

画数ビンゴ大会

7日 14:00～14:30 16:00～16:30

8日 11:00～11:30 14:00～14:30

漢字の本やグッズなどが当たるビンゴ大会。漢字の画数が幸運の数字。

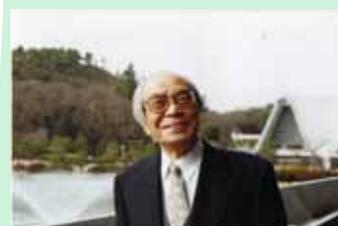
古代文字で名前を書こう

7日 12:00～16:30

8日 10:00～15:30(途中休みが入ります)

自分の名前を古代文字で書いてもらおう。

澁澤 尚 先生(福島大学准教授)



白川静(しらかわしずか)ってだれ?

漢字の成り立ちを調べると、大昔の人の暮らし方や考え方がわかります。これまでは、2000年前の字書に書かれていた成り立ちを、後の人もずっとそうだと考えていました。

しかし、「そうではない」と自分の考えを表したのが白川静先生です。およそ50年前のことです。白川先生は、大昔の人が亀の甲羅や獣の骨に刻んだ字を研究して、漢字の成り立ちについての新しい考えを発表しました。

大人の方へ

白川静博士(1910-2006)は、漢字研究の第一人者。中国古代人の生活や信仰にまで踏み込んで古代文字を分析。漢字の成り立ちについて、2000年来の解釈を覆す理論を打ち立てました。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所は、白川博士の研究成果を元に、東洋文字文化について広く社会一般を対象とした教育と普及を行い、また学術研究の分野において東洋文字文化研究の振興と高度化を図ることを目的に活動を行っています。

平成 24 年 10 月 3 日

福島漢字探検隊 - 漢字あそび大会 2012 福島大学・立命館大学「漢字で元気に」プロジェクト第 2 弾！

概要

福島大学と京都の立命館大学とで「漢字で元気に」プロジェクトを、「子どもゆめ基金」(国立青少年教育振興機構)の助成を得て福島で始動。

その第 2 弾として、市教委後援・平凡社協賛を得て福島県民対象の無料企画「福島漢字探検隊 - 漢字あそび大会 2012」を福島テルサにて開催。

福島大学は、立命館大学、白川静記念東洋文字文化研究所と協力し、福島市教委の後援、平凡社の協賛を得て、「漢字で元気に」プロジェクトを福島で始動しています。「子どもゆめ基金」(国立青少年教育振興機構)助成活動です。

「漢字で元気に」は、年齢・性別に関わらず共通の話題にできる漢字・日本語を、家族をはじめとするコミュニティの交流ツールとなるように、そしてそこから生まれてくる絆の力を震災復興に向けられるように、さまざまな話題や知識を提供する活動を行うものです。

福島大学人間発達文化学類で漢字・漢文学の講座を担当する澁澤尚が、故白川静博士(文化勲章受章者)に師事していたことが縁で実現しました。

昨年(2011)の第 1 回は、2 日間にわたり多くの親子の皆さんに会場いただき好評のうちに終了することができました。(添付新聞報道資料参照)

その第 2 弾として、漢字をテーマにしたイベント「福島漢字探検隊 - 漢字あそび大会 2012」を 10 月 7 日・8 日の二日間、福島市「福島テルサ」にて開催し、市民・県民を無料招待いたします。漢字・日本語をテーマにした昔ながらのゲーム(かるた・トランプ)やクイズ大会、画数ビンゴ大会、古代文字で名前を書く等の催しや、学習用の市販教材や手作り教材の展示などを行います。字書や漢字カルタなどの景品も多数用意しています。(詳細は、添付チラシ参照)

今後も継続的に福島県内(会津地方、浜通、県南)にて、体験型漢字講座「福島漢字探検隊」の開催等の活動を行っていきます。

開催要項

日時 10月7日(日) 12:00~17:00
10月8日(祝) 10:00~16:00 【入退場自由】

会場 「福島テルサ」3階「あぶくま」

内容

漢字あそびコーナー(漢字カルタ・トランプ・古代文字すごろく等)
古代文字で名前を書こう・漢字クイズ大会・画数ビンゴ大会
白川静展示コーナー 景品多数

対象 小中学生、親子、年配者までどなたでもご参加いただけます

参加料 【無料】 事前申込不要 当日会場に直接お越しください

主催 学校法人立命館大学 白川静記念東洋文字文化研究所

協力 国立大学法人 福島大学

後援 福島市教育委員会

協賛 平凡社、太郎次郎社

問い合わせ先

福島大学人間発達文化学類 澁澤尚 研究室

:024-548-8131 / e-mail: shibusawa@educ.fukushima-u.ac.jp

学校法人立命館 社会連携課 久保

:075-813-8110 / e-mail: toyomoji@st.ritsumeai.ac.jp

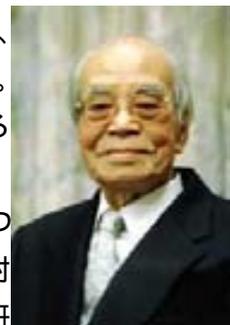
白川静博士について

白川静博士(しらかわ しずか、1910-2006)は、世界的な東洋学者で、漢字研究の第一人者。古代人の生活や信仰にまで踏み込んで文字を分析。漢字の成り立ちについて、最古の字書『説文解字』以来の二千年にわたる解釈を覆す理論を打ち立てました。

白川博士は日本と中国とが東アジア地域において文化的類型性をもつという広い視野に立ち、最古の文字資料である殷・周の甲骨文や金文に対して体系的な研究を行い、中国および日本の古代文化について独創的な研究を築き上げました。その学説は世に「白川文字学」と称され、内外の学界から高い評価を得ています。

その独自の学説は、数千年来、字源研究の聖典として権威をもった『説文解字』の誤りを指摘し、六十余年におよぶ漢字研究の成果を、独力で辞書3部作(『字統』『字訓』『字通』平凡社刊)に編纂、漢字文化の豊かな世界を広く世人に理解せしめ、今後の文字表現のあるべき道を示唆、朝日賞、毎日出版文化賞、菊池寛賞、井上靖賞など多数受賞しました。

漢字文化圏全体に亘る壮大な研究により1998年、文化功労者として顕彰され、2004年、文化勲章が授与されました。



「漢字探検隊」について

「漢字探検隊」は、座学だけではなく、動物園・植物園・科学館・神社などの見学や体験を通して漢字の成り立ちとそのもとになった自然や文化を学習する体験型講座です。京都市では2007年3月よりほぼ2ヶ月に1回の割合で開催。東京都では2009年7月より3ヶ月に1回の割合で開催。他にも宮城県角田市、茨城県つくば市、福井市、名古屋市、滋賀県草津市、神戸市、広島市、福岡県（北九州市・太宰府市・久留米市）での開催実績があります。

昨年の福島開催の様子

（第二種郵便物認可） 2011.9.24 福島民友

楽しく漢字学んだよ
 きょうまでクイズや画数ビンゴ

漢字の成り立ちなどを楽しく学ぶ「福島漢字探検隊」

漢字の成り立ちなどを楽しく学ぶ「福島漢字探検隊」

きょうまでクイズや画数ビンゴ

ツとなる古代文字や、さまざまな漢字を学んでいる。平仮名や片仮名がどんな漢字から派生したかを学ぶ漢字クイズ大会や、画数ビンゴ大会が開かれているほか、古代文字で自分の名前を書くコーナーなどが設けられ、子どもたちに好評。漢字や古代文字を使ったかるた、すごろくも楽しめる。

漢字クイズを楽しむ子どもたち

「漢字あそび大会」は23日から、福島市のこむこむで開かれ、子どもたちが漢字に関係するゲームに挑戦している。24日まで、立命館大・白川静記念東洋文学文化研究所の主催、福島大の共催。

福島大大学院の洪沢尚准教授が故白川静氏から指導を受けていた縁で、本眼で初めて開いた。漢字研究の第一人者だった白川氏にちなみ、参加者が漢字のル

美しい音色会合

美しい演奏を披露した福島高高の生徒たち

「福島民報」 2011.9.24

漢字あそび 元気に

福島大と立命館大親子ら大会 福

福島大は二十三、二と共催で「福島漢字探十四の面日、立命館大「検隊」漢字あそび大

歴史舞台などを繰り広げた「義経まつり」

古代の文字を当てるクイズに挑戦する子どもたち

会合を福島市のこむこむで開いている。初日は親子らがゲームやクイズなどを通して漢字に親しんだ。

両大学の「漢字で元気に」のプロジェクトの第一弾。世代を超えて共通の話題にできる漢字や日本語の知識を提供することで家族間の絆を育み、震災復興への力になってもらうと企画した。

会場では漢字かるたやすごろく、古代文字で名前を書くコーナーなどが人気を集めた。

辞書などが当たる漢字クイズ大会では子どもたちが古代の文字に頭をひねりながら現在の文字を言い当てていた。